

③平塚市地域公共交通網形成計画 評価指標の状況 (74 ページ記載の内容に現在の実績値を追記)

施策体系・施策メニュー	評価指標	計画策定時の調査時点	目標	最新の実績値
(Ⅰ)①鉄道の利便性向上の促進 ・既存路線の利便性向上の促進 ・鉄道駅の新設・延伸の促進	JR 平塚駅の利用の促進 ※1 日あたりの乗車人員 ※JR 東日本 HP(各駅の乗車人員) ※将来の人口減少の比率を考慮する	約 62,000 人／日 (平成 29 年)	現状維持	55,356 人 (令和 5 年度) ※出典：JR 東日本 HP 各駅の乗車人員 2023 年度 ベスト 100
(Ⅰ) ②バスの公共交通軸の整備・強化 ・幹線バスの整備・強化 ・南北都市軸の新公共交通システムの整備	路線バスの利用割合 ※PT 調査(交通手段分担率) ※平塚市におけるバスの移動が対象	約 2.9% (平成 20 年) 東京都市圏パーソントリップ調査(平成 20 年)	現状から増加	約 4.7% (平成 30 年) 東京都市圏パーソントリップ調査(平成 30 年)
(Ⅰ) ②バスの公共交通軸の整備・強化 ・走行環境の向上	路線バスの旅行時間 ※路線バスの移動時間調査 ※厚木方面(平 53)、伊勢原方面(平 90)、秦野方面(平 71)	平塚駅着(7 時, 17 時) ・平 53(約 48 分,約 45 分) ・平 90(約 37 分,約 30 分) ・平 71(約 62 分,約 66 分) 平塚駅発(7 時, 17 時) ・平 53(約 54 分,約 61 分) ・平 90(約 40 分,約 26 分) ・平 71(約 53 分,約 68 分) (平成 21 年)	現状から短縮	変化なし ※平塚駅北口～ツインシティ大神～本厚木駅南口の急行便(平 157 系統)開設
(Ⅱ) ①地域内交通の整備 ・既存路線バスの確保・維持、改善 ・路線バス以外の地域内移動手段の確保	交通の利便性の向上に対する満足度 ※平塚市市民意識調査	評価点-0.02% (平成 30 年)	現状から向上	評価点-0.01% (令和 4 年) ※出典：令和 4 年度平塚市市民意識調査 p.48。5 段階評価で、十分満足 2 点、満足：1 点、普通：0 点、あまり満足していない：-1 点、満足していない：-2 点で計算

施策体系・施策メニュー	評価指標	計画策定時の調査時点	目標		最新の実績値
(3) ①バリアフリー化の推進 ・新規車両の導入	ノンステップバスの導入台数 ※平塚市バリアフリー基本構想の実施事業 ※「平塚市バリアフリー基本構想」の実施事業に関する評価指標の目標値は、今後、「平塚市バリアフリー基本構想」に基づく事業計画の目標年次及び目標値が変更された場合に、その変更後の目標値を準用する。	96 両／163 両 (平成 29 年)	115 両／163 両 (令和 2 年度) 本計画策定時の目標値。平塚営業所の在籍車両の約 70%に導入した場合の両数	128 両／160 両 (令和 7 年度) 平塚営業所の在籍車両の約 80%に導入した場合の両数	125 両／160 両 (令和 5 年度末) 平塚営業所在籍車両の約 78%
	UD タクシーの導入台数 ※平塚市バリアフリー基本構想の実施事業 ※「平塚市バリアフリー基本構想」の実施事業に関する評価指標の目標値は、今後、「平塚市バリアフリー基本構想」に基づく事業計画の目標年次及び目標値が変更された場合に、その変更後の目標値を準用する。	13 台 (平成 29 年)	29 台 (令和 2 年度) 本計画策定時の目標値。国の導入目標台数を元に設定した台数	62 台／245 台 (令和 7 年度) 国の導入目標の改正により、県内の導入率が約 25%とされたことから、平塚市内の在籍車両に本割合を当てはめた台数	35 台／245 台 (令和 5 年度末) 平塚市内の在籍台数の約 14%

施策体系・施策メニュー	評価指標	計画策定時の調査時点	目標	最新の実績値
(3) ②交通結節点の整備 ・バス停の待合環境改善 ・サイクル&バスライド施設の整備	主要バス停上屋の設置箇所数 ※平塚市バリアフリー基本構想の実施事業 ※「平塚市バリアフリー基本構想」の実施事業に関する評価指標の目標値は、今後、「平塚市バリアフリー基本構想」に基づく事業計画の目標年次及び目標値が変更された場合に、その変更後の目標値を準用する。	84箇所 (平成29年)	86箇所 (令和2年度) ※「平塚市バリアフリー基本構想」に基づく事業計画では令和3年度から令和7年度までに「現状から増加」を目標としている。	86箇所 (令和5年度末) 平塚市、神奈川中央交通、民間等設置分で上り、下りを別々に集計 ※。増加分は、ツインシティ大神バス停(乗車1か所、降車1か所) ※バスロータリーで3つ以上の上屋がある場合、上り、下りで1箇所ずつとカウントしている。
	平塚駅周辺駐輪場の収容台数 ※平塚市行政概要	11,714台 (平成29年)	現状から増加	11,774台 (令和4年度末)
	バス停付近駐輪場の設置箇所 ※平塚市行政概要	8箇所 (平成29年)	現状から増加	13箇所 (令和5年度末) 増加分は、玉川橋、大縄橋、片岡、中沢橋、柳の内の5箇所。このほか神奈川中央交通(株)が田村車庫に設置
(4) ①利用促進事業 ・情報提供の強化 ・地域内移動の利便性向上 ・利用者インセンティブの付与 ・公共交通利用への意識啓発	公共交通の利用割合 ※PT調査(交通手段分担率) ※平塚市における鉄道およびバスの移動が対象	約16.4% (平成20年) 東京都市圏パーセントトリップ調査(平成20年)	現状から向上	約21.1% (平成30年) 東京都市圏パーセントトリップ調査(平成30年)
	交通の利便性の向上に対する満足度(再掲) ※平塚市市民意識調査 ※(2)①と同様	評価点-0.02% (平成30年)	現状から向上	評価点-0.01% (令和4年) ※金額式IC定期券導入(令和3年※～) ※小児IC運賃50円化(令和5年～)